

4月上旬に来年度の児童募集用のパンフレットが完成すると同時に、学校内外での説明会がスタートしました。先日、幼児教室の先生方を対象とした説明会を行いました。これからも学校説明会、公開授業、オープンスクールなどを行いながら募集活動に取り組んでいきます。経済状況がなかなか改善しないことや先日の東日本大震災の経験が、多くの人々の不安要素になっているようですが、このようなときだからこそ、桐光学園小学校の今の姿と私たちが理想としている教育がどのようなものであるかをお伝えし、ご理解いただけるようにしていかなければならないという気持ちで取り組んでいます。

【校長室で】

毎日いろいろなお客さん（子どもたち）が来てくれます。お話をしに来る子、折り紙遊びやお絵かきをしに来る子、中には友だちとの待ち合わせ場所にする子など様々です。昨年度の冬ごろから、6年生の男の子たち何人かがよく来ていました。さすがに折り紙やお絵かきはしませんでした。ときには低学年の子と遊んであげることもあり、あとは卒業アルバムを見たり、新聞を読んだりしながら過ごしていました。どちらかというと低学年の子どもたちがよく来てくれる校長室では、6年生の男の子たちは特別大きいお兄さんたちだったので、4月になってから「もう大きいお兄ちゃんたちいないんだね。」と寂しがっている子もいました。

お話をしてくれる子も多い中で、特に女の子たちのお喋りのパワーには圧倒されることがあります。学校のこと、家でのことを一通り聞かせてくれます。というよりも聞かされます。男性と女性とでは、一日に発する単語の量がかなり違うという話を聞いたことがあります。まさにそのことを実感します。話の内容については、このたよりでご紹介することは控えますが楽しい話題ばかりです。

さて、校長室に来てくれる子どもたちの中には、友だちとの関係がうまくいかなかったり、自分の好きなことが見つからなかったりというようなことがあって、しばらくの間自分を休ませているような子もいます。そのようなときは私は何か特別に話しかけるわけでもなく、会話は挨拶程度にして「よく来てくれたね」という歓迎の気持ちだけは伝えるようにしています。様子を見ているとそのような子どもたちも長くても数日で楽しい居場所を見つけることができるようでもたまたま姿を見せなくなります。そういうことから子どもたちは自分を前に進ませようとするすごい力を持っていて、校長室で過ごしながらも次に自分がどうしたいのかをちゃんと考えていることが分かります。

気になることや心配なことがあったとき、私たちは何でも原因を究明して解決しようとしています。でも、私たちのまわりには解決できないこと、分からないことがたくさんあります。無責任だとお叱りを受けるかもしれませんが、私はその段階で「解決できない」「分からない」という結論を自分で導き出すことができることも一つの解決方法なのだなどと子どもたちを見ていて思うことがあります。子どもたちが、新たな一歩を踏み出そうとするときには、過去のことに拘ることよりもこれからに期待する気持ちの方が強いのかもかもしれません。私はそういう子どもたちの前向きな姿勢を応援したいです。

【愛されていることと愛すること】

5月10日の朝会で、各学年の子どもたちに一言ずつメッセージを送りました。1年生、2年生、・・・の順に伝えていくと、それぞれの学年の子どもたちが、私がどんなことを言うのかと皆真剣に聞いてくれました。

(以下私の話から)

今、皆さんに一言ずつお伝えしましたが、皆さん一人ひとり、家族だけでなく、たくさんの人たちに見守られ、愛されています。学校では、皆さんがいろいろなことを頑張って、そして今までできなかったことが一つでも多くできるようになることがよいこととされるかもしれません。でも、私は今ここに皆さんがいてくれて、しっかりと話を聞いてくれることや毎日元気に学校に来てくれることがとても嬉しいです。皆さんは、私や先生たちを、そして家族の皆さんを幸せな気持ちにさせる力を持っています。

ただ、皆さんがそのように、人を幸せな気持ち、嬉しい気持ちにさせてあげる力を持っていないことがあるのではないかと感じる場合があります。例えば、電車で同じ車両に乗っている人やバスと一緒に乗っている人は知り合いではないし、家族でもないですね。学校に歩いてくるときに反対側から歩いて来る人もそうですね。実はそういう人たちに対しての心配りができると、皆さんはもっともっとたくさんの人たちを嬉しい気持ち、幸せな気持ちにしてあげることができるのです。・・・・・・

子どもたちがたくさんの人たちに愛され大切にされていることを実感して、自分の存在の大切さに気づいてくれること、これが重要です。その上で、自分にできることを考えて、特別なことでなくてもいいから実践できるようになってほしいです。この話を聞いた子どもたちが、「なんだ、電車やバスの中で静かにしなさいということか」としか感じなかったとしたら、それは私の話し方がよくなかったということです。最後になりましたが、今回の大震災で被災された方々への義援金を募ることを本日発行の学年だよりでお願いしていますが、これもこのような考えの延長上にあるものとしてご協力いただけるとありがたいです。